

<報道関係者各位>

2025年1月28日
ガレージバンク株式会社
上智大学

ガレージバンクと上智大学が連携し、生成AIや非構造化データを活用した新たなリスク評価モデルの開発に着手

適切なリスク評価により、ユーザーの利便性向上を図る

モノ資産の管理・活用アプリ「cashari（カシャリ）」を提供するガレージバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：山本 義仁、以下「ガレージバンク」）と上智大学（所在地：東京都千代田区、学長：曄道佳明）は委託研究契約を締結し、生成AIや非構造化データを活用した、新たなリスク評価モデルの開発に着手したことをお知らせします。適切なリスク評価によりユーザーの利便性向上を図るほか、リスクを事前に検知する手法を確立し、他の金融関連サービスへの展開も目指します。



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

GarageBank

本委託研究の背景と目的

ガレージバンクは「cashari」を通じ、個人の方が所有する動産資産を対象としたリースバックサービスを提供しております。安定的なサービス提供においては、適切なリスクコントロールによる利用促進が重要であり、ガレージバンクではこれまでも機械学習によるリスク評価モデルを開発し運用していますが、与信判断力をより一層強化すべく、今般、生成AIや非構造化データを活用した新たなリスク評価モデルの開発に着手いたしました。

本委託研究を実施する、上智大学大学院応用データサイエンス学位プログラム百瀬研究室は、データサイエンスによりビジネスシーンでの新たな成果の創出や事業化を追求しており、これまでも産学連携における生成AIの活用や新たなフレームワーク等の開発実績を有しています。

本委託研究では、従来の機械学習によるアプローチでは捉えきれない事象を、生成AIや非構造化データを活用し分析することで、与信判断における精度の向上を目指します。具体的には、年齢・性別・

職業といった定量的なデータ解析のみならず、ユーザーの行動特性や外部要因を統合的に分析することで、これまでの機械学習によるリスク評価モデルと比較し、判断力の向上を実現するものです。

今後の展望

本研究で開発したリスク評価モデルを「cashari」事業に活用することで、適切なリスク評価による、ユーザーの利便性向上を図ります。またアルゴリズムを応用し、リスクを事前に検知する手法を確立することで、他の金融関連サービスへの展開も目指します。

モノ資産の管理・活用アプリ「cashari」について

「cashari（カシャリ）」は、初期登録不要、スマホで写真を撮るだけ30秒でモノの価値を短時間で確認でき、おカネに変換できるサービスです。スマートフォンやゲーム機、ブランドアイテム、自動車など、あらゆるモノ資産が対象で、20万ダウンロードを突破（2025年1月時点）。

新たな挑戦からちょっとしたピンチまで、cashariを使えばアイテムを手放すことなく資金化が可能です。おカネが必要な時に活用できる、キャッシングやローンとは違う、新たなファイナンスサービスです。

ガレージバンク株式会社について

当社は「モノの価値を、みんなの”できる”に。」をミッションに掲げる、Fintechスタートアップです。資金不足による機会損失を無くし、みんなのチャレンジを実現するため、モノ資産の管理・活用アプリ「cashari」を運営しています。モノの価値を公正に評価し、その価値を即座に資金化する仕組みを整えることで、新たなモノ資産の管理・活用体験を創出します。

また、電子決済等代行業者として関東財務局に登録しており、GMOあおぞらネット銀行と提携しウォレット機能も提供しています。ISO27001に準拠した情報管理体制を構築し、多くの方に安心してサービスをご利用いただいています。

上智大学 概要

- ・所在地：東京都千代田区紀尾井町7-1
- ・学 長：曄道 佳明
- ・U R L : <https://www.sophia.ac.jp/jpn/>

ガレージバンク株式会社 概要

- ・所在地：東京都港区虎ノ門2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー6F
- ・代表者：代表取締役 山本 義仁
- ・資本金：793,827,500円（2024年11月1日現在（資本準備金含む））
- ・設立年月日：2020年1月22日
- ・事業内容：モノ資産の管理・活用アプリ「cashari」を運営
- ・URL : <https://www.garagebank.co.jp/>

お問い合わせ先

ガレージバンク株式会社 広報担当 青木
TEL：050-5370-5960 E-mail：pr@garagebank.co.jp
上智大学 広報グループ 担当 川端
TEL：03-3238-3179 E-mail：sophiapr-co@sophia.ac.jp

本資料の送付先：文部科学記者会